

対象：多発性骨髄腫

レジメン名：DPd

1サイクル：28日間

### 1.2サイクル目

No.	薬品名	投与量	投与方法	Day			
				1	8	15	22
内服	デキサメタゾン	40mg/日	内服	○	○	○	○
1	ダラキューロ®	15mL	皮下投与	○	○	○	○
内服	ポマリドミド	4mg/日	夕食後	day1-21			

備考

ダラキューロの投与に際して

- ・ 開始1-3時間前までにジフェンヒドラミン50mg+アセトアミノフェン1000mg内服  
(infusion reactionがなければ2回目以降はアセトアミノフェン600mgに減量可能)
- ・ 初回投与時には投与前日眠前と投与日朝にモンテルカスト10mg内服、以降の内服は医師判断で実施
- ・ COPDや気管支喘息のある場合や既往歴のある場合は投与後処置として気管支拡張薬、吸入ステロイドを考慮

ポマリドミド投与に際して

- ・ 患者のリスクに応じてアスピリン腸溶錠、エドキサバン、クロピトグレル、低分子ヘパリン、ワルファリンを使用

### 3-6サイクル目

No.	薬品名	投与量	投与方法	Day			
				1	8	15	22
内服	デキサメタゾン	40mg/日	内服	○	○	○	○
1	ダラキューロ®	15mL	皮下投与	○		○	
内服	ポマリドミド	4mg/日	夕食後	day1-21			

備考

ダラキューロの投与に際して

- ・ 開始1-3時間前までにジフェンヒドラミン50mg+アセトアミノフェン1000mg内服  
(infusion reactionがなければ2回目以降はアセトアミノフェン600mgに減量可能)
- ・ COPDや気管支喘息のある場合や既往歴のある場合は投与後処置として気管支拡張薬、吸入ステロイドを考慮

ポマリドミド投与に際して

- ・ 患者のリスクに応じてアスピリン腸溶錠、エドキサバン、クロピトグレル、低分子ヘパリン、ワルファリンを使用

7サイクル目以降

No.	薬品名	投与量	投与方法	Day			
				1	8	15	22
内服	デキサメタゾン	40mg/日	内服	○	○	○	○
1	ダラキューロ®	15mL	皮下投与	○			
内服	ボマリドミド	4mg/日	夕食後	day1-21			

備考

ダラキューロの投与に際して

- ・ 開始1-3時間前までにジフェンヒドラミン50mg+アセトアミノフェン1000mg内服  
(infusion reactionがなければ2回目以降はアセトアミノフェン600mgに減量可能)
- ・ COPDや気管支喘息のある場合や既往歴のある場合は投与後処置として気管支拡張薬、吸入ステロイドを考慮

ボマリドミド投与に際して

- ・ 患者のリスクに応じてアスピリン腸溶錠、エドキサバン、クロピトグレル、低分子ヘパリン、ワルファリンを使用